

施策評価シート

対象事業年度 平成 26 年度

施策4

政策	II 夢のふくらむ港・環境にやさしい港	施策推進責任者	港営部長・企画調整室長
施策	4 良好な港湾環境の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など	意図(どういった状態にしたいのか)	水域の適正な管理が行われ、港湾における環境負荷が低減するなど、自然環境、生活環境、地球環境などさまざまな面で環境を守り環境にやさしい港	
	サービスの対象物(何を)	港湾のあらゆる機能への環境配慮や自然環境保全の取組			
展開①	水域の適正な管理 放置艇による問題を解決するため、関係機関や利用者との調整、係留保管場所の確保及び地域の実情に照らした規制によって、名古屋港の水域の適正な管理に取り組みます。	展開②	港湾における環境負荷の低減及び自然環境保全 名古屋港管理組合業務や港湾物流における温室効果ガス排出量を削減するため、環境負荷の低減や自然環境保全に取り組むとともに、PR活動を実施します。	展開③	長期的・安定的なしゅんせつ土砂処分場の確保 港内で発生するしゅんせつ土砂の処分場の確保を進めるとともに、廃棄物処理に関わる埋立地の整備を引き続き進めます。

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名(担当課名)	指標名【指標型】	24年度	25年度	26年度	目標値	26年度の状況	26年度実施事業に基づく評価結果		
			上段: 指標 目標値	中段: 指標 実績値	下段: 事業費(各年度・人件費込・国費除く)			27年度以降の方向性		・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等
								成果	コスト	

【展開①】水域の適正な管理

施04事101	放置艇対策の推進(プレジャーボート対策担当)	巡視及び行政指導をおこなった回数【単年度管理型】	-	-	24回	24回	目標値を上回る	継続	維持	維持	・放置等禁止区域の拡大指定に伴う放置船舶等の移動・撤去を着実に進めていく必要があるため。
			35回	23回	30回				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			19,866千円	15,444千円	41,835千円	30年度					

【展開②】港湾における環境負荷の低減及び自然環境保全

施04事201	第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の推進(環境担当)	環境に配慮した取組の達成状況【進行管理型】	-	-	13項目	18項目	順調	継続	維持	維持	・本組合独自の環境マネジメントシステム(名管EMS)を運用しながら、環境負荷の低減を継続的に図る必要があるため。
			13項目	11項目	11項目	28年度完了			取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			5,230千円	4,380千円	3,524千円						
施04事202	港湾環境啓発活動の推進(環境担当)	パンフレット等の受取人数【単年度管理型】	-	-	1,100人	1,100人	目標値をやや下回る	継続	維持	維持	・環境啓発活動は継続的に実施する必要があるため。
			1,300人	1,027人	1,004人				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			4,120千円	2,709千円	3,032千円						

【展開③】長期的・安定的なしゅんせつ土砂処分場の確保

施04事301	稲永ふ頭廃棄物埋立護岸整備事業(事業担当)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	-	-	100.0%	100%(累計)	順調	完了			・平成26年度に完了したため。
			21.8%	67.7%	100.0%	26年度完了					
			1,019,761千円	2,736,307千円	1,923,491千円						
施04事302	しゅんせつ土砂処分場の確保(企画担当)	しゅんせつ土砂処分場計画の策定までの状況(全4工程)【進行管理型】	-	-	2工程	4工程(累計)	やや遅れ	継続	拡大	維持	・国によるしゅんせつ土砂処分場計画の早期の策定に向けて、国等と協力しつつ関係者と鋭意調整を図っていく必要があるため。
			-	-	1工程	30年度			資源(財・人)の投入は維持したまま、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。		
			3,051千円	3,066千円	6,607千円						
		施策コスト(合計)千円	1,052,028千円	2,761,906千円	1,978,489千円						

3. CHECK(成果目標の状況・26年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等		24年度	25年度	26年度	目標値[30年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
	(仮目標値)※	実績					
放置艇の隻数	隻	隻	-	-	(1,016)	880	・放置艇対策の推進については、放置等禁止区域の拡大、本組合が行う巡視・行政指導により取り組んでおり、順調に進捗しています。
名古屋港管理組合温室効果ガス総排出量の削減率	%	%	-	-	(3.0)	5.0 ^注	・温室効果ガス排出量は、公用車のエコドライブや港務艇の経済運行、節電の取組などにより基準年度(平成23年度)より7.5%の削減となり順調に進捗しております。
			3.9	1.9	7.5		

注:名古屋港管理組合温室効果ガス総排出量の削減率は、28年度を目標年度としております。

※ 仮目標値 = 指標設定時の値(平成25年度) + $\frac{\text{目標値(平成30年度)} - \text{指標設定時の値(平成25年度)}}{5\text{年間(政策体系期間)}}$

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)

適正・見直しが必要 (見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)

4. ACTION(課題・27年度以降の取組方針)

26年度に取り組んだ内容	課題	27年度以降の取組方針
<p>【展開①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年4月に指定した放置等禁止区域内の放置船舶等を誘導・撤去しました。 新舞子ポートパークに継ぐ恒久係留保管施設の整備等、放置艇対策について検討を進めました。 	<p>【展開①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放置等禁止区域の拡大指定に伴う放置船舶等の移動・撤去を着実に進めていく必要があります。 新たな恒久係留保管施設の整備を推進していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 拡大した放置等禁止区域に係留している放置艇を新舞子ポートパークへ誘導・収容していきます。 新たな恒久係留保管施設について、適地や施設規模などの検討を進めていきます。
<p>【展開②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策実行計画に定める取組項目について、平成25年度の集計結果を取りまとめ、ホームページ等で公表しました。 地球温暖化対策実行計画の実効性を高めるために導入していたISO14001に基づく環境マネジメントシステムの運用を見直し、本組合独自の環境マネジメントシステム(名管EMS)を制定しました。 港湾環境啓発活動として、メッセなごや等の環境イベントにおけるパンフレットの配布や環境学習の協力を行いました。 	<p>【展開②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の低減や環境啓発活動は、継続的に取り組む必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガスの削減に向けて、名管EMSの運用を行い、取組状況を把握しながら、地球温暖化対策実行計画を着実に推進していきます。 名古屋港の環境への取組に関心を持っていただくとともに、環境啓発活動として、環境イベントへの参加や環境学習の協力を引き続き行っていきます。
<p>【展開③】</p> <ul style="list-style-type: none"> 稲永ふ頭廃棄物埋立護岸整備の進捗を図り、平成26年度に完了しました。 国によるしゅんせつ土砂処分場計画の策定に向けて、国等と協力しつつ関係者と調整を行い、国において事前調査が開始されました。 	<p>【展開③】</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋港内で発生するしゅんせつ土砂について、長期かつ安定的な処分場を確保する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 国によるしゅんせつ土砂処分場計画の早期の策定に向けて、国等と協力しつつ関係者と鋭意調整を図っていきます。